

令和2年10月26日

## 桜門体育学会令和2年度大会（第11回大会）のご案内

### ご挨拶

2020年は正にコロナウイルスの年といっても過言でなく、世界中の人々が三密の回避や日常的なマスクの着用等、新生活習慣を強いられています。感染禍はとどまりを知らず、56年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックは2021年に延期され、プロ、アマを問わず、多くのスポーツ競技会も延期や中止、無観客や観客数を制限した開催を余儀なくされています。また、学会や講演会等も、三密を避けての実施やオンラインでの開催等、感染防止に細心の注意が払われています。

これらの社会情勢を鑑み、本年度の第11回大会はオンラインで開催いたします。大会行事は特別講演、一般発表、総会とし、シンポジウムは実施しないことといたしました。

特別講演は本学危機管理学部の福田充教授に「新型コロナウイルスの危機管理とリスクコミュニケーション」のテーマでご講演いただきます。福田教授はこれまで、内閣官房や厚生労働省で新型インフルエンザ等対策有識者会議や委員会のメンバーを歴任され、新型コロナウイルスに対する危機管理にも造詣が深い先生ですので、コロナウイルス禍の教育、研究業務に関する実践的な知見をご教示いただければと思います。

一般発表はライブ発表とオンデマンド発表で実施します。ライブ発表は従来の口頭発表であり、正会員が対象です。オンデマンド発表は従来のポスター発表であり、こちらは正会員と準会員が対象となります。発表や質疑応答の要領が通常とは異なりますので、「4.大会行事」の項をよくご確認の上、対応をお願いいたします。ご不明点等がございましたら、大会実行委員会にお問い合わせください。

本年度はコロナウイルス禍でのオンライン開催となりますが、体育・スポーツの教育・研究に係る貴重な情報交換の場であることに変わりはありません。また、参加者の皆さんはおそらく、オンラインでの授業や会議、テレワーク等によりかなり精通されておられると思います。皆様のご協力により、本大会運営を円滑に進め、例年以上の成果が収められる様、尽力したいと思っております。本大会が日本大学の体育・スポーツのさらなる発展に寄与できることを祈念しご挨拶いたします。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

第11回大会委員長 鈴木 典（日本大学スポーツ科学部）

## 1. 大会概要

- 会 期： 令和3年1月23日（土）（令和3年1月17日（日）から配信開始）  
令和2年12月7日（月）が一般発表抄録の受付期限です。
- 会 場： オンラインで開催（大会特設ページを使用）  
<http://www.nu-taiiku.jp/society/omon11>（下記 QR コード参照）  
※大会特設ページへのログインパスワードは、大会参加費をお支払いいただいた方へ、Eメールなどを用いてご案内いたします。
- 大会行事： 特別講演，一般発表（ライブ，オンデマンド），総会
- 大会実行委員会：日本大学スポーツ科学部 鈴木研究室  
住所：〒154-8513 東京都世田谷区下馬 3-34-1  
Tel：03-5995-8402（芸術学部 小沢研究室）



## 2. 参加申し込み

- 参加申し込みは「Web登録」のみとなります。Web登録の場合は、令和2年12月7日（月）までに本学会のホームページ【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】上の「大会参加申し込み」フォーム，もしくは「3. 一般発表（ライブ，オンデマンド）申込要領」に示される URL より手続きを行ってください。
- ライブまたはオンデマンド発表を希望される方は，以下の「3. 一般発表（ライブ，オンデマンド）申込要領」をご参照のうえ，発表申し込みを必ず行ってください。
- 大会参加費は学会員，非会員共に 1,000 円，準会員は 500 円です。大会参加費のお支払いは振込のみとします。会員の方は同封の振込用紙をご利用ください。準会員，非会員の方は，下記の口座宛てにお振込ください。共同研究者であっても，大会に参加されない方は参加費不要です。

### 【大会参加費振込用口座】

銀行名称：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）  
支店名：019（ゼロ・イチ・キュー）支店  
口座番号：00140-8-607674  
口座名称：桜門体育学会事務局（オウモンタイイクガッカイジムキョク）  
振込金額：正会員・非会員 1,000 円  
準会員 500 円<sup>注1</sup>

注1：こちらの500円は、準会員の年会費として代えさせていただきます。すでに準会員の方は、大会参加費が不要となります。

## 3. 一般発表（ライブ，オンデマンド発表）申込要領

- ライブ，オンデマンド発表申し込みは「Web登録」のみとなります。令和2年12月7日（月）までに，本学会のホームページ【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】上の「大会参加申し込み」フォームより手続きを行ってください。
  - 発表申し込みの際には，希望発表区分を選択してください。
    1. ライブ発表（従来の口頭発表であり，正会員が対象）
    2. オンデマンド発表（従来のポスター発表であり，正会員と準会員が対象）
- ※ 大会運営の都合上，ライブ発表の受け入れ数に制限がありますので，当該発表を申

し込まれた方につきましては、学会事務局より発表形式の変更をお願いすることもありますので、ご了承ください。発表の受付結果については、申し込み締め切り後できるだけ早い時期に、Eメールでご連絡いたします。

■ 以下の要領に従ってフォームを回答し、発表抄録を作成してください。

1. 演題・氏名等：

① 演題、氏名、所属について、それぞれ所定の欄にご入力ください。

② 準会員（大学生）は共同研究者として、指導教員名を必ず記載してください。

2. キーワード：2～5語程度、記入してください。

3. 本文文字数：本文は500文字以内とします。

【大会参加・発表申し込みのフォーム】

第11回桜門体育学会大会参加・発表申し込み：

<https://forms.gle/hGKQ8JMGed5rZxiT8>



#### 4. 大会行事

■ **ライブ発表（質疑応答日時：令和3年1月23日（土）13：00～14：00）**

- ・ ライブ発表は、発表者が作成した発表動画を事前に関連していただき、質疑応答をライブで行います。
- ・ 発表者は、パワーポイントなどに音声を追加した発表動画やPCの画面録画機能を利用した発表動画を作成し、YouTubeに限定公開でアップロードしたURLを [omon11taiiku@gmail.com](mailto:omon11taiiku@gmail.com) までご連絡ください。また、発表動画で使用したパワーポイントなどのスライド資料はPDFで保存し、上記のURLと併せて、Eメールに添付してください。なお、Eメールのタイトルは、「桜門体育学会11回大会発表資料」とし、本文には演題、氏名、所属を明記してください。
- ・ 発表動画の時間は、10分程度（最長15分）とします。
- ・ 令和3年1月17日（日）には、参加者が発表動画および資料を閲覧できる状態でホームページ上に掲載します。参加者は発表動画を事前に関連し、以下の質疑応答時間までに質問をご用意ください。質疑応答は、1月23日（土）13：00～14：00にライブで行います。
- ・ 発表者は、各自で「YouTube Live」が配信できるように、YouTubeのアカウントをご用意ください（アカウントの承認に24時間程度かかる場合があります）。
- ・ 質疑応答は、各発表者が質疑応答用に用意したチャンネルにアクセスし、質疑応答を行ってください。

■ **オンデマンド発表（資料掲載日時：令和3年1月17日（日）～1月23日（土）**

- ・ オンデマンド発表は、発表者が作成した資料（PDF形式）を閲覧し、すべてテキストで質疑応答を行います。
- ・ 発表者は、作成した発表スライドまたはポスターをPDF形式で保存してください。
- ・ 作成したPDF資料は、[omon11taiiku@gmail.com](mailto:omon11taiiku@gmail.com)宛てのメールに添付してください。Eメールのタイトルは、「桜門体育学会11回大会発表資料」とし、本文に演題、

氏名、所属を明記してください。

- ・ 令和3年1月17日（日）には、参加者が資料を閲覧できる状態でホームページ上に掲載します。参加者は資料を閲覧し、各発表に対して発表ページに記載のある掲示板を用いて、テキストにより質問を投稿してください。質問は、1月17日（日）～1月21日（木）20：00まで受け付けます。
- ・ 発表者は、1月23日（土）10：00までにすべての質問に対して、掲示板を用いてテキストで回答してください。
- ・ 発表演題数により、研究領域毎にいくつかのブロックに分けることがあります。
- ・ 演題、発表者、共同研究者、所属を明示してください。
- ・ 所属については以下の通り記載してください。
  - i. 大学生：学部学科まで記載してください。
  - ii. 大学院生：専攻まで記載してください。
  - iii. 大学教員：学部名まで記載してください。
  - iv. i～iiiに該当しない方：会社名や学校名を記載してください。

■ **特別講演（掲載日時：令和3年1月17日（日）～1月23日（土））**

「新型コロナウイルスの危機管理とリスクコミュニケーション」

講 師：福田 充 先生（日本大学危機管理学部）

概 要：

新型コロナウイルスのパンデミックは世界に大きな被害をもたらした。日本政府や自治体の対応は初動において混乱し、危機管理の観点からも大きな問題を残した。日本で初めて発出された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が解除されたのち、日本社会は経済活動などの社会活動を続けながら感染防止対策を両立させるという極めて難しいオペレーションを実行し、アフターコロナの時代における新しい生活様式のあり方を模索し続けている。治療薬やワクチンが開発、承認され、日本国内で接種開始されるまでの間、この新型コロナウイルスに対する危機管理も次のフェイズへと移行しつつある。グローバルなリスクであるこの新型コロナウイルスは、社会においても政府や自治体だけでなく、企業や学校、病院、そして家庭や個人までもがステークホルダーとしてそれぞれの対応を求められる遍在的なリスクであり、公助だけでなく、共助、互助、自助といったあらゆるレベルでの危機管理が求められる。社会全体で取り組むべき新型コロナウイルスの危機管理はどうあるべきか、とくにリスクコミュニケーションの観点から考察する。

■ **総会（令和3年1月23日（土）15：00～15：30）**

正会員の方は、ご出席のほどよろしくお願いいたします。当日は「YouTube Live」で動画をライブ配信いたします。なお、総会の資料やライブ配信に関わる URL などは、1月17日（日）から総会終了時まで大会特設ページに記載いたしますので、ご確認ください。

以 上